

初夢のわが身何千尺墜ちし

藤田湘子

私はよく落ちる夢を見る。ガードレールを突き破って落ちてゆく空中で、着地する態勢を整えているような変な夢だが、妙にリアルなスローモーションである。夢の中で、落ちながら一生懸命叫んでいるのだが声が出ない。危機一髪寸前に、自分の呻き声に覚める。

湘子はどこから墜ちたのだろう。初夢から何千尺も墜ちたのではやり切れない。夢占いによると、落ちる夢はその場所や状態により吉夢か凶夢か分かれるが、おおむね不安や警告を表しているのだとか。

飯島晴子にも「初夢のなかをどんなに走つたやら」という句がある。湘子も晴子も人知れず恐怖とたたかっていたのであろうか。